

# 8月 住まい通信

## 和室のカビ



### < 和室のどんな箇所にカビが生えやすいのか >

#### 壁

和室の壁は珪藻土や漆喰、砂といった素材を使っている場合があります。これらの塗り壁は調湿機能に優れているので、一見カビ対策にもなりそうですが、室内の湿度が高すぎる場合、壁が吸った湿気を放出することができなくなり、常に湿った状態になってしまい、これがカビの原因になりやすいです。

#### 畳

畳も調湿機能に優れているので湿気を吸収・放出する事ができますが、高い湿度が続くと塗り壁同様に畳が湿気を吸ったまま状態になり、カビの発生原因になります。特に新しい畳ほど調湿機能が高く、カビになってしまうことが多いです。

#### 押入れ

汗を吸った布団をそのまま押入れにしまうと湿気が溜まりカビにつながる場合があります。特に湿度が高くなりがちな和室の押入れが要注意です。

### < 和室にカビができてしまった場合のお手入れ >

#### お酢を使うやり方

- ①お酢を水で 10 倍に薄めたものを用意
- ②お酢を薄めた水に雑巾をつけて固く絞り、こするように水拭きをする (水拭きをするときは畳目に沿って行います)
- ③乾拭きをする (畳は湿気に弱いので、最後にしっかりと乾拭きをしましょう)

※掃除の直後はお酢の匂いが残ってしまいますがしばらくすると消えます。  
また、お酢には除菌効果や軽い漂白効果もあります。

#### エタノールを使うやり方

- 1 エタノールスプレーを作る  
エタノールをスプレー容器に入れておきます
- 2 エタノールを畳にスプレーする  
少し高めの位置からスプレーしましょう
- 3 スプレーした場所を歯ブラシでこする  
カビが気になるところにエタノールをスプレーしたら歯ブラシで畳を傷めないように優しくこすります
- 4 掃除機で吸い取る  
畳の目に沿って掃除機をかけてください
- 5 エタノールで除菌する  
これでカビが発生しにくくなります
- 6 乾拭きをする  
いくらエタノールが蒸発しやすいとはいえ、スプレーしたまま、放置するのは畳によくありません。最後にしっかりと乾拭きをしてください。この時も畳目に沿って拭いてください。

### < やってはいけない行為 >

#### カビを水拭きする

水拭きをするときは注意が必要です。畳は水分を吸収する性質があります。そのため、水分を多く含んだ雑巾で水拭きをすると、畳が水を吸ってしまい、かえってカビの原因になります。水拭きをするときは、硬く絞った雑巾を使いましょう。



#### 拭き掃除をする前にカビを掃除機で吸う

掃除機は吸い込んだ汚れは機内に貯めるのですが、空気は排出してしまうのです。なので、カビくらい小さい粒子になると、その排出される空気に乗ってむしろ拡散してしまいます。ということで、拭き掃除をする前に直接カビを吸い取ることはやめた方がいいです。



#### カビを叩いて拭く

カビが生えているところを叩いてはいけません。カビが周囲に飛び散りますし、畳の目の奥にカビが入り込む原因にもなります。

